

受験番号

◎ 指示があるまで開かないこと。

令和3年2月17日 午後用
---------------

## 第72回獣医師国家試験 実地試験問題 (D)

### 注意事項

1. 問題数は60問であり、解答時間は2時間である。
2. 解答方法は次のとおりである。

〔1〕 各問題には5つの選択肢があるので、そのうち質問に適した答えを1つだけ選び、次の例にならって答案用紙にマークすること。なお、1問につき2つ以上マークした場合には、そのうちの1つが正答であっても誤りとして取り扱われる。

(例) 問61 我が国で獣医師国家試験事務を受けもっている省はどれか。

1. 厚生労働省
2. 文部科学省
3. 農林水産省
4. 外務省
5. 国土交通省

正答は「3」であるから、答案用紙の

61 E 1 ☐ E 2 ☐ E 3 ☑ E 4 ☐ E 5 ☐のうちE 3 ☑を横線で、  
61 E 1 ☐ E 2 ☐ ~~E 3 ☑~~ E 4 ☐ E 5 ☐とマークすれば良い。

〔2〕 答案用紙のマークには、必ずHBの鉛筆を使用し、次の良い例のとおり、塗りつぶさずに線を引くこと。

良い例…… 悪い例……

〔3〕 答えを修正する場合は、必ずプラスチック製の消しゴムで完全に消し、消し跡や消しクズが残らないようにすること。消し方が悪いと採点されないの  
で注意すること。

〔4〕 答案用紙は、折り曲げたり、メモやチェックなどで汚したりしないよう特  
に注意すること。



**課題1 次の文を読み、問1、問2に答えよ。**

犬、雑種、避妊雌、7歳齢。頻回の嘔吐を主訴に来院。制吐剤を使用しても改善せず、水を飲んでも吐いてしまう。〔図1 - A, B, C〕は腹部X線像（A：右下側方像、B：左下側方像、C：腹背像）、〔図D〕は胃十二指腸移行部の超音波縦断像である。

別冊D

図1 - A, B, C, D

**問1** 本症例の嘔吐の原因として最も疑われる疾患・病態はどれか。

1. 粘膜病変による幽門通過障害
2. 過剰なガスの呑気
3. 幽門の胃内異物
4. 食道裂孔ヘルニア
5. 腹膜炎

**問2** この疾患に関する治療として最も適切なのはどれか。

1. 幽門の切除と胃十二指腸の吻合
2. 裂孔の縫縮と胃固定
3. 制吐剤の変更
4. ドレーンの設置
5. 胃切開による異物の摘出

**課題 2 次の文を読み、問 3、問 4 に答えよ。**

犬、去勢雄、16 歳。剖検時、胸腔内に多量の液体が貯留。同液体のトリグリセリド濃度は血清に比較して高値であった。〔図 2 - A〕は剖検時の胸壁胸膜の肉眼像、〔図 2 - B〕は同部の HE 染色像、〔図 2 - C〕はその拡大像である。また図と同様の病変が縦隔にも認められた。

別冊 D 図 2 - A, B, C
-----------------------

**問 3** 所見として最も適当なのはどれか。

- a 肉芽腫性胸膜炎
- b 石灰沈着
- c 乳び胸
- d 悪性腫瘍の脈管内浸潤
- e 化膿性胸膜炎

1. a, b      2. a, e      3. b, c      4. c, d      5. d, e

**問 4** 病態として最も適当なのはどれか。

- 1. 尿毒症
- 2. 血栓塞栓症
- 3. 細菌感染
- 4. 上皮小体機能亢進症
- 5. 胸管閉塞

課題3 次の文を読み、問5、問6に答えよ。

猫、雑種、去勢雄、14歳齢。1か月前からの食欲不振を主訴に来院。〔図3-A〕はこの症例の外貌、〔図3-B〕は頭部X線像、〔図3-C, D〕は病変部の細針吸引細胞診像（ギムザ染色、C：×100、D：×400）である。

別冊D  
図3-A, B, C, D

問5 最も疑われる疾患はどれか。

1. リンパ腫
2. 線維肉腫
3. 扁平上皮癌
4. 骨肉腫
5. 悪性黒色腫

問6 この疾患に関する記述として誤っているのはどれか。

1. 猫の口腔内腫瘍では最も多い。
2. 口臭の悪化がみられる。
3. 肺転移はまれである。
4. 確定診断には骨まで含む組織生検を実施する。
5. カルボプラチンによって生存期間が延長する。

**課題 4 次の文を読み、問 7、問 8 に答えよ。**

犬、シェットランド・シープドッグ、雄、10 歳齢。鼻汁、鼻出血、くしゃみを主訴に来院。〔図 4 - A〕は頭部 X 線腹背像、〔図 4 - B〕は病変部の生検組織の直接塗抹像（ライトギムザ染色）である。

別冊 D 図 4 - A, B
--------------------

**問 7** 最も疑われる疾患はどれか。

1. 腺癌
2. リンパ腫
3. 菌原性嚢胞
4. 軟骨肉腫
5. 根尖膿瘍

**問 8** 本症例に対する治療法として最も適当なのはどれか。

1. 抗菌薬の投与
2. コルチコステロイドの投与
3. 上顎切除
4. 罹患歯の抜歯
5. 放射線治療

課題 5 次の文を読み、問 9、問 10 に答えよ。

7 日齢の子牛が突然衰弱し、出血性の下痢を呈して死亡した。〔図 5 - A 〕は剖検時の腹腔内の写真である。病変部の嫌気培養で〔図 5 - B 〕に示す細菌が分離された。

別冊 D  
図 5 - A, B

問 9 最も疑われる疾患はどれか。

1. 大腸菌症
2. 気腫疽
3. エンテロトキセミア
4. 壊死桿菌症
5. サルモネラ症

問 10 次に行うべき検査はどれか。

- a 毒素産生株であることの証明
- b 菌体抗原と鞭毛抗原の決定
- c 莢膜保有株であることの証明
- d V 因子要求性の確認
- e 腸管内容物中の菌量の測定

1. a, b      2. a, e      3. b, c      4. c, d      5. d, e

**課題 6** 次の文を読み、問 11、問 12 に答えよ。

犬、トイ・プードル、雌、6 歳齢。ふらつきおよび震えを主訴に来院。〔図 6 - A〕は血液検査結果、〔図 6 - B〕は上腹部の超音波検査像、〔図 6 - C〕は同部位の腹部造影 CT 検査横断像である。

別冊 D  
図 6 - A, B, C

**問11** 最も疑われる疾患はどれか。

1. 副腎皮質腫瘍
2. ガストリノーマ
3. インスリノーマ
4. 褐色細胞腫
5. グルカゴノーマ

**問12** この疾患に対して投与する薬剤として適当なのはどれか。

1. トリロスタン
2. プレドニゾロン
3. インスリン
4. ファモチジン
5. プラゾシン



課題7 次の文を読み、問13、問14に答えよ。

馬、サラブレッド種、雄、4歳齢。運動中に異常呼吸音を認めため診察した。  
〔図7〕は咽喉頭部の内視鏡所見である。

別冊 D 図 7
-------------

問13 最も疑われる疾患はどれか。

1. 咽頭虚脱
2. 軟口蓋背側変位
3. 喉頭片麻痺
4. 喉嚢真菌症
5. 喉頭蓋エントラップメント

問14 この疾患の治療法として適切なのはどれか。

1. 喉頭蓋下粘膜切開術
2. 口蓋垂切除術
3. 円鋸術
4. 喉頭形成術
5. 内頸動脈結紮術

課題 8 次の文を読み、問 15、問 16 に答えよ。

〔図 8〕はある人獣共通感染症の感染環および終末感染である。

別冊 D 図 8
-------------

問15 この感染症の病原体はどれか。

1. 日本脳炎ウイルス
2. デングウイルス
3. ウエストナイルウイルス
4. チクングニアウイルス
5. 黄熱ウイルス

問16 この感染症に関する記述として適切なのはどれか。

- a 東南アジアで流行を繰り返している。
- b 「家畜伝染病予防法」において流行性脳炎として定められている。
- c 我が国では輸入感染症のみの発生報告がある。
- d ヒトの重症例では出血熱がみられる。
- e ヒトにおいてワクチンが実用化されている。

1. a, b      2. a, e      3. b, c      4. c, d      5. d, e

課題9 次の文を読み、問17、問18に答えよ。

〔図9〕はあるウイルスのゲノムとタンパク質を示している。

別冊 D 図 9
-------------

問17 このウイルスが属するウイルス科はどれか。

1. ピコルナウイルス科
2. アストロウイルス科
3. アルテリウイルス科
4. カリシウイルス科
5. フラビウイルス科

問18 このウイルス科に属するウイルスの研究に貢献した研究者が2020年にノーベル医学・生理学賞を受賞した。対象となったウイルスはどれか。

1. 黄熱ウイルス
2. ヒト免疫不全ウイルス
3. ポリオウイルス
4. ヒトパピローマウイルス
5. C型肝炎ウイルス

課題10 次の文を読み、問 19、問 20 に答えよ。

猫、雑種、雌、2歳齢。高所から落下後、両後肢を跛行するとの主訴で来院。〔図 10 - A, B〕は後腹部 X 線像（A：側方像、B：腹背像）である。

別冊 D  
図 10 - A, B

問19 最も疑われる疾患はどれか。

1. 脊椎骨折
2. 股関節形成不全
3. 股関節脱臼
4. 仙腸関節脱臼
5. 大腿骨折

問20 本症例に対する治療法として適切なのはどれか。

1. 椎体固定
2. 骨盤骨切り術
3. 大腿骨頭骨頸部切除術
4. ラグスクリューによる固定
5. インターロッキングネイル法

課題11 次の文を読み、問 21、問 22 に答えよ。

〔図 11 - A〕は我が国におけるある人獣共通感染症の年次別の患者報告数、〔図 11 - B〕はその推定感染原因の内訳である。

別冊 D 図 11 - A, B
---------------------

問21 この疾患はどれか。

1. E 型肝炎
2. ブルセラ症
3. レプトスピラ症
4. 旋毛虫症（トリヒナ症）
5. SFTS（重症熱性血小板減少症候群）

問22 この疾患に関する記述として最も適切なのはどれか。

1. 主な感染経路は経口感染である。
2. 病原体が感染動物の尿に排泄される。
3. ヒトでは慢性化することが多い。
4. ワクチンが実用化されている。
5. 西日本において患者の多発傾向がある。

課題12 次の文を読み、問 23、問 24 に答えよ。

牛、ホルスタイン種、雌、3 か月齢。〔図 12〕は症例の顔面外貌である。食欲や活力に問題はないが、顔面や頸部を痒がっている。

別冊 D

図 12

問23 この疾患の原因として最も疑われるのはどれか。

1. *Staphylococcus aureus*
2. *Trichophyton verrucosum*
3. *Candida albicans*
4. *Dermatophilus congolensis*
5. *Microsporum canis*

問24 この疾患に関する記述として誤っているのはどれか。

1. 若齢牛ほど感受性が高い。
2. 接触感染する。
3. 人獣共通感染症である。
4. 自然治癒することがある。
5. 放置すると内臓に病変が形成される。

**課題13** 次の文を読み、問 25、問 26 に答えよ。

猫、雑種、雌、2 か月齢。食欲不振と嘔吐を主訴に来院。〔図 13 - A 〕は本症例の外貌、〔図 13 - B, C 〕は腹部 X 線像（B：側方像、C：腹背像）である。

別冊 D  
図 13 - A, B, C

**問25** 本症例の X 線所見として適切なのはどれか。

1. 骨盤骨折により骨盤腔が狭小化している。
2. 腸穿孔が認められる。
3. 結腸に腫瘍が認められる。
4. 結腸内に大量の糞塊が貯留している。
5. 腹水が貯留している。

**問26** この疾患の外科的治療に関する記述として正しいのはどれか。

1. 麻酔リスクが高いため手術は半年後に計画する。
2. 外科的に肛門を開口させる。
3. 腫瘍の摘出と腸吻合を行う。
4. 速やかに腸穿孔部の閉鎖を行う。
5. 骨盤の拡張手術を実施する。

課題14 次の文を読み、問 27、問 28 に答えよ。

猫、雑種、雌、3歳齢。慢性の咳を主訴に来院。〔図 14 - A〕は胸部 X 線側方像で、糞便検査により〔図 14 - B〕が認められた。

別冊 D 図 14 - A, B
---------------------

問27 最も疑われる疾患はどれか。

1. 猫回虫症
2. マンソン裂頭条虫症
3. 日本住血吸虫症
4. 肺吸虫症
5. トキソプラズマ症

問28 本症例に対する対応として適切なのはどれか。

- a 生魚の摂食の有無を確認する。
- b プラジクアンテルで駆虫する。
- c 室内で飼育するよう飼い主に指導する。
- d 投薬 1 週間後に抗体検査により駆虫の効果を判定する。
- e 飼い主自身に医療機関の受診を勧める。

1. a, b      2. a, e      3. b, c      4. c, d      5. d, e



**課題15** 次の文を読み、問 29、問 30 に答えよ。

犬、ミニチュア・シュナウザー、去勢雄、9歳齢。口腔内に腫瘤を認めたとの主訴で来院。〔図 15 - A〕は本症例の口腔内の外貌、〔図 15 - B〕は病変部の細針吸引細胞診像（ギムザ染色、× 400）である。

<b>別冊 D</b> <b>図 15 - A, B</b>
-----------------------------------

**問29** 最も疑われる疾患はどれか。

1. リンパ腫
2. 線維肉腫
3. 扁平上皮癌
4. 肥満細胞腫
5. 悪性黒色腫

**問30** この疾患に関する記述として最も適切なのはどれか。

1. 脱顆粒によりヒスタミンを放出する。
2. ドキソルビシンにより生存期間が延長する。
3. 一般に放射線治療は無効である。
4. 外科的切除で良好な予後が期待できる。
5. 高率にリンパ節および肺転移を生じる。

課題16 次の文を読み、問 31、問 32 に答えよ。

牛、ホルスタイン種、雌、4歳齢。分娩後2か月間無発情のため、生殖器を超音波検査したところ、子宮に異常は認められず、左右の卵巣で〔図16〕の様な所見が得られた。1週間後の再検査でも所見に変化はなかった。

別冊 D  
図 16

問31 最も疑われる疾患はどれか。

1. 卵巣静止
2. 黄体遺残
3. 顆粒膜細胞腫
4. 卵胞嚢腫
5. 黄体嚢腫

問32 本症例の治療に用いられるのはどれか。

- a 馬絨毛性性腺刺激ホルモン
- b  $\text{PGF}_{2\alpha}$
- c オキシトシン
- d 性腺刺激ホルモン放出ホルモン
- e ヒト絨毛性性腺刺激ホルモン

1. a, b      2. a, e      3. b, c      4. c, d      5. d, e

課題17 次の文を読み、問 33、問 34 に答えよ。

ちらし寿司が原因と疑われる食中毒が発生した。ちらし寿司および患者から選択分離培地を用いてある食中毒細菌の分離を行った。〔図 17 - A〕は用いた培地の組成（1ℓ当たり）、〔図 17 - B〕は培養により得られたコロニーである。

別冊 D  
図 17 - A, B

問33 最も疑われる原因菌はどれか。

1. ウェルシュ菌
2. 黄色ブドウ球菌
3. サルモネラ属菌
4. セレウス菌
5. プレシオモナス・シゲロイデス

問34 この食中毒あるいは原因菌に関する記述として誤っているのはどれか。

1. 嘔吐誘導活性を持つ毒素を産生する。
2. 毒素は酸に耐性を示す。
3. 重症例では腎障害や脳症がみられる。
4. 摂食後 1～6 時間で発症する。
5. 国内で 13,000 人以上の発症者を伴う大規模な食中毒事件が発生した。

**課題18 次の文を読み、問 35、問 36 に答えよ。**

猫、雑種、去勢雄、12 歳齢。間欠的嘔吐および体重減少を主訴に来院。飲水量および尿量が数か月前から増加している。身体検査では軽度脱水（5%）がみられ、筋肉量が中等度減少していた。〔図 18 - A〕は血液検査結果、〔図 18 - B〕は腎臓の超音波検査像である。

別冊 D  
図 18 - A, B

**問35** 最も疑われる疾患はどれか。

1. 腎細胞癌
2. 多発性嚢胞腎
3. 慢性腎臓病
4. 水腎症
5. 腎結石

**問36** 本症例で次に行う検査として適切なのはどれか。

- a 遺伝子検査
- b 腎臓の細胞診
- c 静脈性尿路造影
- d 尿検査
- e 血圧測定

1. a, b      2. a, e      3. b, c      4. c, d      5. d, e

課題19 次の文を読み、問 37、問 38 に答えよ。

牛、ホルスタイン種、雄、7日齢。患肢に疼痛や腫脹はみられなかったが、起立時に〔図 19〕に示すような異常姿勢を呈した。

別冊 D

図 19

問37 最も疑われる疾患はどれか。

1. 関節炎
2. 突球
3. 骨折
4. 筋炎
5. 捻挫

問38 この疾患に対する治療法として誤っているのはどれか。

1. ギプス固定
2. 切腱術
3. プラスチックキャスト固定
4. バンデージ固定
5. 髄内ピン固定

課題20 次の文を読み、問 39、問 40 に答えよ。

〔図 20〕の赤い点で示す地域は 2020 年 12 月時点における、ある人獣共通感染症の清浄国・地域である。

別冊 D

図 20

問39 この感染症はどれか。

1. 狂犬病
2. 結核
3. ペスト
4. レプトスピラ症
5. 鳥インフルエンザ

問40 我が国でこの感染症の対策として行われている輸入検疫の対象動物はどれか。

1. 鶏
2. スカンク
3. マウス
4. プレーリードック
5. サル

**課題21 次の文を読み、問 41、問 42 に答えよ。**

犬、ヨークシャー・テリア、去勢雄、8歳齢。慢性下痢を主訴に来院。〔図 21 - A〕は血液検査および尿検査結果、〔図 21 - B〕は腹部超音波検査像、〔図 21 - C〕は腸管の内視鏡検査像、〔図 21 - D〕は病変部の病理組織像（HE 染色、×40）である。

別冊 D 図 21 - A, B, C, D
---------------------------

**問41** 最も疑われる疾患はどれか。

1. 腸腺癌
2. 腸リンパ管拡張症
3. 食餌反応性腸症
4. 潰瘍性結腸炎
5. 巨大結腸症

**問42** この疾患に対する治療法として最も適当なのはどれか。

1. 外科的切除
2. 低タンパク食の給与
3. 低脂肪食の給与
4. 高繊維食の給与
5. L - アスパラギナーゼの投与

課題22 次の文を読み、問 43、問 44 に答えよ。

牛、ホルスタイン種、雌、10日齢。出生時より元気、哺乳欲はあるものの、起立難渋と歩様のふらつきが継続している。〔図 22〕は症例の外貌である。

別冊 D

図 22

問43 最も疑われる疾患はどれか。

1. 化膿性髄膜脳炎
2. 中耳炎
3. 破傷風
4. 水頭症
5. 腰麻痺

問44 この疾患の原因として最も適切なのはどれか。

1. 指状糸状虫
2. チュウザンウイルス
3. ショクヒヒゼンダニ
4. *Clostridium tetani*
5. *Histophilus somni*



課題23 次の文を読み、問 45、問 46 に答えよ。

〔図 23〕はある大気汚染物質に関する注意報等が発令された延べ日数および都道府県数の推移である。

別冊 D

図 23

問45 この大気汚染物質はどれか。

1. 二酸化硫黄
2. 一酸化炭素
3. 二酸化窒素
4. 光化学オキシダント
5. 浮遊粒子状物質

問46 この大気汚染物質に関する記述として適切なのはどれか。

1. 赤血球のヘモグロビンと高い親和性を持つ。
2. 自動車などの燃焼機関が主な排出源である。
3. ロンドン・スモッグの原因物質である。
4. 温室効果ガスである。
5. オゾンが主成分である。

**課題24 次の文を読み、問 47、問 48 に答えよ。**

犬、ラブラドル・レトリバー、避妊雌、5歳齢。元気消失を主訴に来院。身体検査で体温40℃、左右手根・足根関節の腫脹を確認。血液検査ではC反応性タンパク（CRP）上昇以外に異常なし。〔図24-A, B〕は関節穿刺の細胞診像（ギムザ染色）である。左右手根・足根関節全てで同様の細胞診像が得られた。〔図24-C, D, E, F〕は前肢のX線像（C：右前肢側方像、D：左前肢側方像、E：右前肢頭尾像、F：左前肢頭尾像）である。

**別冊 D**  
**図 24-A, B, C, D, E, F**

**問47** 最も疑われる疾患はどれか。

1. 骨髄炎
2. 免疫介在性多発性関節炎
3. 関節リウマチ
4. 化膿性関節炎
5. 変形性関節炎

**問48** この疾患の治療法として適切なのはどれか。

1. 抗菌薬の投与
2. 関節固定
3. プレドニゾロンの投与
4. ビスホスフォネートの投与
5. ヒアルロン酸の関節内投与

課題25 次の文を読み、問 49、問 50 に答えよ。

馬、サラブレッド種、雄、2歳齢。レースに出場したが途中失速し、最下位でゴールした。レース直後の聴診にて不整脈を認めた。〔図 25〕はレース 5 時間後の安静時心電図（AB 誘導）である。

別冊 D 図 25
--------------

問49 心電図所見として適切なのはどれか。

- a 陰性 T 波
- b QRS 群の消失
- c P 波の延長
- d f 波の出現
- e R-R 間隔の不整

1. a, b      2. a, e      3. b, c      4. c, d      5. d, e

問50 この不整脈は何か。

- 1. 心室性期外収縮
- 2. 完全右脚ブロック
- 3. 心室細動
- 4. 心房細動
- 5. 心室粗動

課題26 次の文を読み、問 51、問 52 に答えよ。

〔図 26 - A〕は、胎子期のウイルス感染により生後 3 か月齢で歩行異常を示した猫の脳断面像である。〔図 26 - B〕は正常な猫の脳を示す。

別冊 D  
図 26 - A, B

問51 最も疑われる疾患はどれか。

1. 狂犬病
2. 猫腸コロナウイルス感染症
3. 猫カリシウイルス感染症
4. 猫白血病ウイルス感染症
5. 猫汎白血球減少症

問52 本疾患あるいはその原因ウイルスに関する記述として適切なのはどれか。

- a ワクチンはない。
- b 糞便を介して感染する。
- c ライオンも感染することがある。
- d 主に腸絨毛の先端に感染することが下痢の原因となる。
- e ヘルペスウイルス科に属する。

1. a, b      2. a, e      3. b, c      4. c, d      5. d, e

**課題27** 次の文を読み、問 53、問 54 に答えよ。

犬、ウェルシュ・コーギー、雌、9歳齢。1週間前からの咳と食欲不振を主訴に来院。〔図 27 - A, B〕は胸部 X 線像（A：側方像、B：腹背像）、〔図 27 - C〕は矢印の病変部の細針吸引細胞診像（ライトギムザ染色）である。

別冊 D 図 27 - A, B, C
------------------------

**問53** 最も疑われる疾患はどれか。

1. 組織球性肉腫（組織球肉腫）
2. 肺腺癌
3. 異所性甲状腺癌
4. リンパ腫
5. 胸腺腫

**問54** 本症例の治療として最も適切なのはどれか。

1. 腫瘍摘出術
2. ロムスチンの投与
3. L-アスパラギナーゼの投与
4. コリンエステラーゼ阻害薬の投与
5. 放射線治療

課題28 次の文を読み、問 55、問 56 に答えよ。

犬、チワワ、雄、2歳齢。数か月前からの左後肢の跛行を主訴に来院。〔図 28 - A、B〕は左後肢 X 線像（A：側方像、B：頭尾像）である。

別冊 D  
図 28 - A, B

問55 最も疑われる疾患はどれか。

1. 股関節脱臼
2. 大腿骨頭壊死症
3. 膝蓋骨外方脱臼
4. 膝蓋骨内方脱臼
5. 前十字靭帯断裂

問56 本症例の手術法として適当でないのはどれか。

1. 大腿骨滑車溝形成術
2. 大腿骨の矯正骨切り術
3. 脛骨粗面転位術
4. 外側支帯縫縮術
5. 内側支帯の解放

課題29 次の文を読み、問 57、問 58 に答えよ。

〔図 29 - A〕のキンギョに固着していた異物（矢印）を引き抜いたところ、〔図 29 - B〕の構造が観察された。

別冊 D  
図 29 - A, B

問57 最も疑われる疾患はどれか。

1. アルゲルス症
2. イカリムシ症
3. カリグス症
4. ベネデニア症
5. ヘテラキシネ症

問58 この寄生虫に関する記述として適切なのはどれか。

- a 固着できるのは雌のみである。
- b 〔図 B〕の矢印は角状突起と呼ばれる。
- c ノープリウス期から魚体に寄生できる。
- d 胎生で繁殖する。
- e 体後部に把握器を持つ。

1. a, b      2. a, e      3. b, c      4. c, d      5. d, e

課題30 次の文を読み、問 59、問 60 に答えよ。

犬、グレート・デーン、去勢雄、7 歳齢。腹部が急激に拡張し、吐気と流涎が認められた後、抑うつ状態となったとの主訴で来院。〔図 30 - A, B〕は上腹部 X 線像（A：側方像、B：背腹像）である。〔図 C〕は立位での腹部 X 線側方像である。

別冊 D  
図 30 - A, B, C

問59 最も疑われる疾患・病態はどれか。

1. 食道裂孔ヘルニア
2. 胃拡張捻転症候群
3. 胃破裂
4. 肝臓腫瘍
5. 腎臓腫瘍

問60 状態の安定後に行う外科治療として適切なのはどれか。

1. 肝葉切除術
2. 幽門形成術
3. 食道固定術
4. 胃腹壁固定術
5. 腎臓摘出術









